

新聞に親しみを持ち、興味・関心をもって新聞を活用していくためのN I E活動

長野県飯田市立伊賀良小学校 片 桐 和 子

1. はじめに

伊賀良小学校がN I E実践校になった昨年（平成12年度）は、個人研究という形で取り組み、片桐が担任していた6年4組の子どもたちと保護者で、新聞日記を回覧することで、新聞に親しむことができ、新聞日記から人に伝える力・聞く力を養えるのではないかと考え実践してきた。新聞日記を継続していくことで、親子のコミュニケーションがはかれるとともに、クラスの友だちや保護者の考えを知ることができた。また、6年の社会科の授業（特に公民分野）や、人としての生き方を考える道徳の授業に、新聞が生きている資料として活用できることも分かり、授業の中でいくつか実践してきた。

今年度、実践校2年目となり、片桐が所属するようになった5学年会では、N I E活動のよさを理解してくれて、単独学級での個人研究から、5学年4学級での学年研究へと広がり研究を進めることとなった。

N I E活動と初めて出会う5年生の子どもたちと、新聞にどうやったら親しむことができるのか、興味・関心をもって新聞を活用していけるための手だては何かを考えながら、無理なく・楽しく・有効に活用でき、実践校でなくなっても続けていけるようなN I E活動のよさを見つけたいと考えた。

2. 実践の内容

(1) 親子による新聞との出会い～参観日でのN I Eの授業を通して（6月）～

① 児童の実態

毎日家で新聞をとっていても、5年生の子どもたちには新聞への関心がうすく、「新聞はほとんど読まない」、「家でとっている新聞の名前も知らない」という子が多く、読んでいる場合でも、テレビ欄と4コママンガくらいという子がほとんどという実態であった。

② N I E活動への出会わせ方

まずは新聞に親しみ、保護者にもN I E活動を理解してもらうことを願い、6月23日（土）の休日参観日で、学年統一してN I Eの授業（総合）を行った。

学習プリントを使って4コママンガの順番を考えたり、ふき出しのセリフを考えたり、各自が家から持ってきた新聞を親子で読み、興味をもった記事を1つ選び、子どもと親が感想を書き合った。感想は全体の前で発表したり、掲示をして紹介した。

<使用した学習プリント>

NIE ニースペーパー イン エデュケーション
(Newspaper in Education = 教育に新聞と)

5年 組 番()

今日の学習
新聞に親しもう の4コママンガの作り方!

1. 4コママンガと順番に並べてみよう。

2. 4コママンガの最後には おき かある。さあ、あなたがマンガ家になったら、どんな言葉を入れますか?

(1)

(2)

おきかある。さあ、あなたがマンガ家になったら、どんな言葉を入れますか?

おきかある。さあ、あなたがマンガ家になったら、どんな言葉を入れますか?



写真：参観日にお父さんと新聞の切り抜き

③ 授業の感想

子：4コママンガの問題はおもしろかった。新聞の切り抜きは、何を選ぶか難しかったけど、お父さんにわからない言葉を教えてもらえてよかった。

親：子どもといい時間がすごせた。家でも新聞を読むときに子どもにも関わってやりたい。

親：いつも忙しくしていたが、じっくり読むと、新聞はすごい。テレビからの情報だけでなく、新聞を読める子になってほしい。

④ 考 察

今後家で新聞の切り抜きをしたりする場合には、5年生の子どもの力だけでは新聞を読み取ることが難しい。参観日にいっしょに新聞を読み、切り抜き活動を親子でしたことは、学校での学習内容を理解してもらい、これから協力してもらうためにも有効であった。子ども達は、4コママンガから新聞に親しむことで、新聞をより身近に感じる事ができた。

(2) 新聞切り抜きの有効活用

新聞切り抜き（自分の感想・保護者の感想を書いてもらう）は、学年で統一して学期に1回は宿題にしたが、2連休ごとに宿題に出すクラス・夏休みの課題の一つにするなど、学級の実態に応じて新聞切り抜きを活用した。発表し合ったり、掲示して見合った。保護者も理解してくれて協力的であった。

<月によって大きな話題となった例>

9月 同時多発テロの新聞記事に合わせて、平和について考え合った。

この記事を取ったときは、ちょうど新聞社の取材がり、5年3組の様子が新聞に掲載された。【児童作品Ⅰ・資料 参照】

1月 雪印食品の不正について、社会の情報と合わせて考えた。

2月 冬季オリンピックから、

その他 伊賀良小学校の記事を見つけてくる子が増えた。

- ・ 中山先生が見つけた白いオシロイバナ
- ・ 大きなカラス貝 など

(3) 新聞文字で文を作ろう（10月・2月）

新聞の中にある文字を使って文章を切り貼りした。新聞の見出しに注目したり、見出しには文字の大きさや形に工夫があることに気づきながら、楽しく活動できた。

10月と2月に2回にわたって実践した5年2組では、2回目になると前回よりも早く新聞から必要とする文字を見つけることができた。また、見つけ出した文字数も増え文章表現も工夫されるようになった。それとともに、新聞の内容にも触れることができた。【児童作品Ⅱ 参照】

上の切り抜きを見て、わたし（ほく）は、――

「よく知らずとてのバニにもうけが、オオ、いふ、④で
もうデロ、まやめてまし。」

おうちの人の感想(お母さん)

テ、預、びんて葉菜を、點太に説明に於ては、おろおろ、現象か、とても悲しい、事です。しかし、約、6、4、人、

いっしょに人がいなくなりました。でも、おれがしてやったのだ。

おうちの人の感想(お母さん)

[illegible]

ひくいとおもう。だってかんけい
ない人たちがけがや死んじゃうな
んてかわいそう。なんでこんなこと
がおきるのかな？

「私たちの人の感想（お困り）」

[illegible][illegible]

中國人語

[illegible]

爆弾騒ぎ90件以上

[illegible][illegible][illegible][illegible]

上の切り抜きを見て、わたし（ぼく）は、

百一十七で、そのハイデガーは出た後、
 まうしまた。七十を過ぎ下から、
 くりとました。一日でも早くかゝ
 のろきといふと思ふ。

私たちの人の感想(母さん法)

[illegible]

2組木下萌

かよこさん
さおりさん
ホなみさん
つむぎ
おし
アソビで
あひだ
かたう

前やったより、
想文書が長かったので
感大変でした。

新聞で気づいた事は、
一つ一つのテーマに合った
文字の形や色をしている

きの
①
た
も
る

2組 松島 彩

いまのきせつ

かぜに氣をつけよう

感想
新聞を作る人は、
どんな気持ちで作るのか、
私はたぶん、みんなが、いろいろ
な事はんは、ニュースを、正確に
し、てもらいたいのから、そんな気持ち
で、作、た、と思う。

氣のいたこ
1103 110. ジブツ、ちがう字
色を穿て、苦ふうしている。

あや

2組 熊谷 保奈美

サ
オ
リ
さん

は
か
さん

こ
う
か
ン
ー
ト

の
み

た
し
た
ネ

ホナミ

感想

前より、た時より早くできたし
書き方と、大きさ状
あまりバラバラにならずに
できて、うれしかった。

知づいた事。

みだしを大きなず書いて
新聞を見る人の、
目線がみだしを見て、それから
文を讀むんだなあに
気づいた。

2組 黒川加衣

気 ^イ
 っ
 ケ
 よ
 っ
 か

カ
 ゼ
 カ
 ハ
 ヤ
 ッ
 テ
 ル

し
 コ
 と
 マ
 へ

やってみたいの 感想

たくさんの字のある中から、一
 文字をさがすのは、とてもし
 だた。このまゝ やった時、
 絵が入っている人がいて、し
 良かたので、私も絵を入
 みた。絵を入れるだけで、
 文章だけよりも、楽しいかん
 じがした。また、良かた

やってみての感想

たくさんの字のある中から、一つの
文字をさがすのは、とても大変
だ。た、このまえ、わたし。

絵が入っている人がいて、とても
良かったので、私も絵を入れた
みた。絵を入れただけで、
大音だけでいい、楽しいかんじの
手紙には、わたしの良かった。

一、 気が付いたこと
彼は、たいてい、同じ日にその新聞で読んでいた。
それは、その日の朝の7時30分には、おれたちの家へ、
今とかわりに送られてくることは、どの新聞でも
きくが、このころは、7月15日ごろの新聞
は、オーストラリアに聞かせることが、あつた。さうして
（1942年）

(4) 社会科の授業での活用（1月）

「わたしたちの生活と情報」の单元の中で、新聞には地方紙と全国紙があり、私たちが知りたい情報の知らせ方は同じではないことを知り、今後自分で選択していく力がついていくことを願い、同一日の記事の読み比べをしてみた。新聞購読をしていたので、【中日・朝日・信濃毎日・読売・産経・毎日・南信州】の7社の新聞から、

1. 一面 2. 天気予報 3. スキー場情報 についてグループ毎に新聞記事を切り抜き、大きな画用紙に貼って、違いなどの感想を出し合った。

<子どもの感想より>

1. 一面について

- 1面はテロ事件を扱っているところが5つあった。今になってもそれだけひどい事件だったんだなあと思った。1月8日の新聞なので、おんべのことを取り上げているのがあった。(祐美)
- 中日は「消費税改正の検討対象・公的資金投入」と書いてあった。毎日「公的資金投入」、産経は「金融危機回避へ」、朝日は「橋本元首相秘書に1,000万円」、信濃毎日は「公的資金投入」、読売は「個人投資家開拓図る」と書いてあった。南信州は「成人式」わかったことは、同じ日なので、書いてあることがほとんど同じだった。南信州は地元のことしか書いてなかった。(充)

2. 天気予報について

- ぼくは天気予報を調べた。ぼくとしては、朝日新聞は全国のがのっていて見やすかった。でも、南信州とかは、小さいけれど、ここら辺のだけのっていて、ここら辺だけのっていれば分かるから、南信州でもいいと思う。(慎也)
- 天気予報は、新聞によって大きさが違っていました。そして、カラーやモノクロや絵や、数字などがありました。雲の様子や、風の様子もありました。ぼくが1番よかったのは、分かりやすい絵や雲の様子があって、字で説明もあるのです。(想)
- 新聞によって、出ている場所が違うことがわかりました。せんとく指数がのっているのは、1つだけで、お母さんたちにはいいかもしれないと思いました。(歩美)

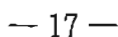
3. スキー場情報について

- スキー場の記事を切り抜いて分かったことは、1番分かりやすいのは信濃毎日新聞で、長野県のスキー場がのっていたからです。スキー場にはスノーボードができる所とできない所があるということもを見つけました。スキー場を選ぶときは、新聞のスキー情報を見ていくぞー。◎滑走可 △一部不可 ×不可 というマークがあることも気づきました。(善文)
- 私は、産経、毎日、読売、信濃毎日の新聞からスキー場情報を探して画用紙にまとめました。新聞は字がいっぱいあってどこにスキー場情報があるか分からなかった

- ・今までじっくり見たことがなかった新聞のことがスキー場情報を見つけているうちにわかってよかった。今度スキーに行ったりするときは、新聞のスキー情報のところを見て行きたいと思います。(智妃)

「割合」で百分率を学習し、グラフをかく学習をした子どもたちに、2月5日の新聞記事の1面にある内閣支持率の記事を見せ、記事からグラフを作ってみようと、算数の授業の発展として扱ってみた。

＜使用した新聞記事＞



<使用した学習プリント>

算数プリント (割合)

5の3(30)番

氏名(宮下 吉祥)

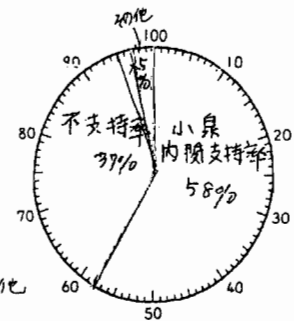
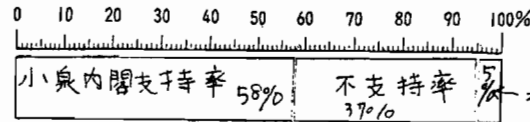
新聞記事とグラフにしてみよう (色をつける見やすいよ)

H14.2月23日の全国世論調査

小泉内閣支持率 (58%)

〃 不支持率 (37%)

その他 (5%)

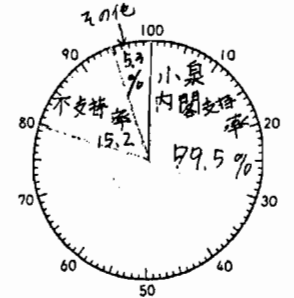
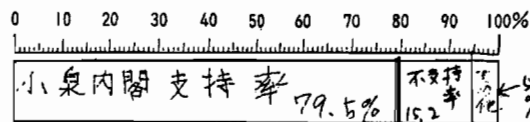


H13.12月の全国世論調査

小泉内閣支持率 (79.5%)

〃 不支持率 (15.2%)

その他 (5.3%)



<今日の勉強の感想>

采介聞さじからグラフにしたら、みやみくになった。
あこし、みかしかたけど、色をぬお
りしてたのしかた。支持率がぐんとさがるた
ことがすごくわかりやすくなった。

いりようみかんがうきりになったら、園児の人は
やはりき持せれないと思う。
自分は高いさうりようもち、てごーかなうきにみんである
のに、私達がなせか苦しむんだ。→ 昔

<子どもの感想>

- 支持率とかをグラフにすると分かりやすいと思った。内閣は大変だと思った。字が多いとよく分からないから、色分けしたグラフがあればいいと思った。(亜弥)
- グラフにするとあまり興味なかった『内閣支持率』もグラフにするとわかりやすくてよい。(祐美)
- 前に新聞の切り抜きの宿題が出たとき、家で新聞を選んでいて、内閣支持率を読んで、「なにこれー」と、思ったけど、今日グラフにあらわしてみたら簡単に分かった。(千佳)
- 新聞から記事をグラフにすると、支持率がすごく多いことがわかった。私は、グラフをかくのが好きです。新聞とかに子どもが読めるようにふり仮名をふってほしい。草すれば私も読める。(あかね)
- グラフにしてみるとなかなか見やすい。小泉内閣支持率が落ちてちょっとがっかりだった。それは、けっこう小泉さんが好きだからだー。(想)
- 支持率をグラフにするには、5、3とか少数があって大変だった。今日みたいにグラフに色をつけると見やすくていい。やっぱり、田中真紀子さんを更迭したから支持率が落ちたんじゃないかな。割合のグラフの勉強は楽しい。(彩音)

- ・政治がぜんぜんわかんないけど、少しだけ分かったような気がする。新聞は字がいっぱい分かんないけど、帯グラフや円グラフにすると分かりやすくなる。新聞にもっとグラフを出せば、子どもでもわかりやすい。政治の4コママンガを作れば楽しめる。(充)

(6) 理科の授業での活用 (9月)

天気図を切り取って、雲が東から西に動いている様子を見つけたり、台風がきたのを発見したりした。

(7) 新聞作り (年間を通して)

5年生では行事や授業のまとめに新聞作りを数多く作ってきた。

社会見学・キャンプ・社会科の授業などを模造紙でのグループ新聞や、B4版での個人新聞にした。クラスによって方法は様々であり、子どもたちは他クラスの新聞を見ては感想をもち、関心を示していた。

3. おわりに

- 子どもたちに新聞のよさを伝えていくためには、新聞を身近に置くことと、教師からの働きかけが必要になると思われる。いつ、どこで、どの記事を使うのか、教師が教材化の視点で新聞を読むことが必要であると思う。
- 11月から2月まで毎日7社の新聞を購読できた。子どもたちが自由に読むことのできるスペースを作ったが、有効に活用するにはもう少し工夫が必要だったように思う。毎日が忙しすぎたか・・・
- 新聞切り抜き日記を休日の宿題として、おうちの方々に関わっていただき感想をそえてもらったことは、家庭での意識を高め、親子で共通の会話ができるよいきっかけになったと思う。実践校でなくなっても続けていきたい。
- 情報化の今、パソコンを中心に情報教育が行われ、インターネットで検索することですぐに情報が手に入る。大いに活用したい。しかし、読書を始めとする活字離れはどんどん進んでおり、活字を読まなくなっていくことに心配な子どもたちである。だからこそ楽しく興味をもって新聞に関わろうとする気持ちを大切にしていきたいと思う。自分の頭で考え、自分の考えを伝え合っていく力を創り上げていくためにも、新聞に興味・関心をもち、社会の動きを理解していけるような子どもたちの姿を願っている。

八面観

学校教育の現場で、新聞を「生きた教材」として活用するNIE

(教育新聞を)活動が習熟にすそ野を広げている。今年度の実践校は第二次認定分を合わせると全国で三百四十八校。新学習指導要領の改定で小中学校が〇二年度、高校は〇三年度から「総合的な学習」の時間が新設されることもあって、NIEが改めて脚光を浴びている。▼県内に八校ある実践校の一つ、飯田市伊賀良小学校では先日、米田で起きた同時多発テロ事件を授業で取り上げ、感想を伝える記事に一人ひとりが感想を添えて発表した。「犯人たちを許さない」「関係のない人たちが巻き添えとなり、かわいそう」などの意見が多く出された。そのうちに「なぜ、こんな事件が起きたのか」を全員が考え始めた。その思いが高じて「どうすれば悲劇をなくせるのか」へと授業が展開して行く。すれ

【資料：新聞掲載記事より】

長野日報 9/21 (金) ▶

10/3 (水) ▼

ば、テロ事件の背景をさらに深く知ることが出来るだろう。▼手前みそかも知れないが、新聞を教材に使う学習に学ぶべきことは多い。伊賀良小児童たちのように記事を読み比べたり、意見を出し合う中で社会に目を向け、もっと事実を知ろうという前向きな姿勢を引き出してくれる。▼「総合的な学習」の時間が導入される目的は、自ら考え、学び、判断する力を養うことにある。これからは単に知識の詰め込みだけではなく、人間として大切な「生きる力」を身に付けることだ。NIEの役割期待したい。(H)



新聞切り抜きを授業し、感想を添える伊賀良小児童

昨年度からNIEの指定学校となった飯田市の伊賀良小学校(下田六郎校長、九百八人)。今年度は五年生が学年単位の授業で、新聞を教材にした学習活動に取り組んでいる。

飯田市伊賀良小

新聞使い総合的学習

記事切り抜き 感想を発表

た。六月下旬の金曜日で、つた親子切り抜きスクラップ作業に比べ、前回は野球やスポーツが多かったが、今回は米田のテロ事件を取り上げた記事が圧倒的に多かった。

米田のテロ事件では「関係のない市民たちが巻き添えとなり、かわいそう」など自分の感想や意見も添えて発表。ある班では、担当の片桐和子教師が「報道行動をして、同じことを繰り返さないように」というような質問が起きたのかをみんながよく考えることが必要「など、家族の感想も紹介した。

黒板にはこうした事件や生活、文化、スポーツ分野などに分けられた切り抜きがずらりと並び、「同じ記事でも見出しや写真が違う」など片桐教師、児童たちの工夫の跡が見て取れた。